

令和7年度予算に対する要望書を提出させていただきました

2024年7月29日に国土交通省航空局 航空ネットワーク部 秋田部長と面会し、令和7年度予算に対する空ハン協としての要望書を提出させていただきました。



服部会長より秋田部長へ要望書を手交



左から、栢沼理事、曾原理事、宍倉副会長、服部会長
(航空局)秋田部長、多田調整官

2024年7月29日

国土交通省 航空局長
平岡 成哲 様

(一社) 空港グランドハンドリング株式会社
会長 服部



令和7年度に向けた要望について

令和6年6月に発表された「経済財政運営と改革の基本方針2024」及び令和5年6月に発表された「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」を踏まえ、令和7年度要望を、以下の通り提出させていただきます。何卒ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

観光立国実現のための体制強化に向けた要望

第4次観光立国推進基本計画の実現に向けた空港の受入体制整備については、国策の一環として継続的に取り組む必要があります。受入体制整備に向けては、採用競争力強化・離職抑制・生産性向上の視点を持ち、これらを実現するためのグラハン事業者の経営基盤の強化が重要となると考えています。目前に迫る2025年目標の実現に向け、国及び地方自治体や空港会社からの支援・協力を促す制度の継続及び拡充について、ご支援をお願いいたします。

(具体的要望事項) ※空港業務の持続的発展に向けたビジョン視点との関係性記載

- 空港受入環境整備への支援の継続・拡充（人材確保・育成、業務効率化、旅客手続きの円滑化・合理化、DX・GX等）【視点1、3、4】
- 需要変動リスクへの対応、空港内の労働環境の改善、空港への通勤支援、空港近隣の住環境整備等、地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援を地方自治体や空港に促す仕組みの継続・拡充【視点2、5、6】
- 多様な人材受入のための環境・制度の整備【視点3、5】

以上